



トークセッションでは、プロデュース、デザイン、芸術の観点からナゴヤ イノベーターズ ガレージの開設に大きく寄与した3名をゲストスピーカーに迎え、本拠点の今後への期待をテーマに、熱を帯びた議論が繰り広げられた。概要は以下のとおり。

ゲストスピーカー3名の紹介

(株)ビルダーズ 安田 耕司 代表

東京丸の内地区など多くのプロジェクトに携わったまちづくりのプロ

(株)ドラフト 山下 泰樹 代表

世界で数々のデザインアワードを受賞しているインテリアデザイナー

愛知県立芸術大学 設楽 知昭 教授

アート×ナゴヤ イノベーターズ ガレージの
コラボレーションプロジェクトを実現した立役者



安田代表

山下代表

設楽教授

トークセッションの発言要旨(敬称略)

1 この空間のデザインやコンセプトに込めた想いについて

中経連: 中部圏に星雲状に広がる熱量を集めイノベーションを創出し続ける拠点(ハブ)、即ちこの空間のデザインやコンセプトに込めた想いとは?

安田: 「際立つ、優れている、あくまでも頑張る」というイノベーター(革新に取り組む人)に必要な要素を意味する、“STAND OUT”をコンセプトとした。イノベーションを起こすには独創的な空間が必要となる。日本ではそのような施設が少ないので、ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(以下、GARAGE)の持つ役割は非常に大きい。このプロジェクトそのものが傑出した、素晴らしいものになることを期待している。

山下: これまでに大きな成長を遂げたいいくつかの世界的企業の共通点の一つに、ガレージを起源としていることがあげられる。シンプルなガレージを自在に改装して新しいビジネスに挑戦する点にエネルギーを感じ、“STAND OUT”を具現化するデザインコンセプトを「ガレージ」とした。

設楽: 中経連とのコラボレーションプロジェクトに、大学から5人の若いアーティストを推薦した。GARAGEへの絵画展示は挑戦的な試みであるが、芸術もイノベーションも、「面白さ」に高い意識を持つことを出発点としている。人と人の交流や作品が利用者の心にざわめきを起こし、インスピレーションが誘発されることを期待している。

2 世界に肩を並べる画期的な創造の場とするために設計に織り込んだこと

中経連: イノベーションを誘発する求心力ある場所となるために、具体的に織り込んだ機能や表現は?

設楽: 芸術に携わる者は、作品を通して自分を表現する。そして表現する過程でさらに考え、進化して行く。この場に展示されている作品を身近に感じることで、自己表現の一つのあり方を体感してほしい。

山下: 立体的な大階段で緩くエリアを分ける、目線の高さを変えるといった工夫により、活発な意見交換から落ち着いた打ち合わせまで、多彩な利用者がさまざまな使い方をすることを意識して空間をデザインした。自由な発想で使え、イノベーションが誘発される場となることを設計の基礎とした。

安田: 世界的にイノベティブなまちと言われるアメリカ・ポートランドのスローガンは、①ローカル、②フレンドリー、③マイクロである。言い換えれば、①大都市を追いかけるのではなく地域のよさを伸ばそう、②誰でも歓迎する親和性を持つ、③小さなことから始めればよいという寛容な雰囲気を持つ、という意味である。これからのGARAGEのキーワードにふさわしい要素として、この開かれたイメージを取り入れた。

3 持続的にイノベーションを触発するために必要なこと

中経連: GARAGEをプラットフォームとしたイノベーション・エコシステムの構築を目指しているが、イノベーションを創出し続けるために重要なポイントは？

山下: 成長し続け、勢いのある企業に共通するのは想像が膨らむような面白さ、自由さのある職場であるということ。自由でイマジネーションを刺激するような空間は、人をもつくっていく。GARAGEは、若者が集まり、自由な発想で働ける雰囲気を体現できた。GARAGEがイノベーションを起こし続ける場所になり得ると考えている。

安田: GARAGEを起点に中京圏全体がイノベティブなまちとなるためには、東京に追随するのではなく、この地域の文化・産業を生かして新しい価値を生み出していかなければならない。「皆を幸せで楽しくできる新しい価値を生み出そう」、という意気込みで、このGARAGEを起点に名古屋のまち全体が変わってほしい。

設楽: 展示された作品の作者たちは、自身の「面白い」という気持ちを大切に作品をつくっている。表現者は褒められたいというような邪心があると上手くいかない。心が揺さぶられるような感覚を描くことこそが作品を生む。この場ではアートが飾り物ではなく、作品を見る人の感情にも作用し、イノベーションをつむぎ出す存在になり得ると確信している。イノベーション拠点とアートがどのように共創していけるのか、今後を楽しみにしている。

4 まとめ

GARAGEに表現した”STAND OUT”(傑出した)空間は、3名のスペシャリストによりグローバルスタンダードでデザインされたことが伝わった。ベースとなるコンセプト、緻密にデザインされた場がもたらす自由な雰囲気、そして目に飛び込んでくるアートからのインスピレーション、さらに利用者の個性が融合することで、新しい価値に気づく。GARAGEがテクノロジーとアートが交差し化学反応が起こる場として活用され、世界へ飛躍するきっかけとなれば、という大きな期待を感じた。

Coming Soon

ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは、大学および大学が行う研究内容と産業界との橋渡しのため、9月より新プログラム“アカデミックナイト”を開催いたします。本プログラムは、中部圏を代表する大学から、さまざまな分野の先生を隔週で招聘し、研究内容や研究成果の紹介と参加者とのディスカッションを通じて、大学の技術シーズを起点とした新事業創造や既存事業の革新へとつなげていきます。

第1回アカデミックナイトは9月26日(木) 18:00~20:30に開催!
名古屋大学から松尾清一総長とトランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)
拠点長の伊丹健一郎教授を迎え、キックオフ特別講演会を行います!

なお、10月以降は、原則隔週木曜日18:00から開催いたします。